

レベル判断に関する「指標」及び「事象」の現状について

「新レベル分類」における レベル判断に関する「指標」及び「事象」		現在の状況																																																							
指標	①確保病床使用率	11月30日:63.3%(375/592床) 1月13日:58.8%(369/628床) 2月8日:28.8%(182/631床)																																																							
	②重症病床用確保病床使用率	11月30日:32.7%(18/ 55床) 1月13日:25.5%(14/ 55床) 2月8日:14.5%(8/ 55床)																																																							
事象	①発熱外来患者の増加 ②救急外来患者の増加 ③入院医療の負荷が増大 ④重点医療機関における 医療従事者の欠勤者の増加 ⑤自宅や施設内療養中の 死亡者の発生	①～④ コロナ患者の減少に伴い、入院者数が減ったことで、病床使用率も低下している。 また、受診・相談センターの相談件数や、臨時発熱外来の検査数、検査キットの配布・陽性登録数も減少傾向だが、医療機関及び高齢者施設でクラスターは断続的に発生しており、医療従事者の欠勤等により、入院受入が一時的に困難になる場合もある。 ⑤ 自宅療養中の死亡者※ 10月:0人 11月:6人 12月:8人 1月:5人 (仙台市を除く) 高齢者施設内療養中の死亡者 10月:5人 11月:15人 12月:29人 1月:17人 (仙台市を除く) ※自宅療養中に容体急変等により病院に搬送され、医師の診察を受けた後に亡くなられた方を含む																																																							
	⑥救急搬送困難事案の増加 ⑦救急車を要請されても 対応できない事案の発生	仙台市消防局における「コロナ疑いによる搬送困難事案件数」の推移 <table border="1" data-bbox="861 958 2127 1153"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">11月</th> <th colspan="4">12月</th> <th colspan="4">1月</th> </tr> <tr> <th>第1週</th> <th>第2週</th> <th>第3週</th> <th>第4週</th> <th>第5週</th> <th>第1週</th> <th>第2週</th> <th>第3週</th> <th>第4週</th> <th>第1週</th> <th>第2週</th> <th>第3週</th> <th>第4週</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急搬送困難件数</td> <td>76</td> <td>90</td> <td>122</td> <td>153</td> <td>104</td> <td>163</td> <td>178</td> <td>148</td> <td>155</td> <td>124</td> <td>132</td> <td>117</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>うちコロナ疑い件数</td> <td>11</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>47</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>41</td> <td>27</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> 総務省消防庁： 各消防本部からの救急搬送困難事案に係る状況調査(抽出)			11月					12月				1月				第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	救急搬送困難件数	76	90	122	153	104	163	178	148	155	124	132	117	133	うちコロナ疑い件数	11	19	30	47	25	33	41	27	39	32	28	16
	11月					12月				1月																																															
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週																																												
救急搬送困難件数	76	90	122	153	104	163	178	148	155	124	132	117	133																																												
うちコロナ疑い件数	11	19	30	47	25	33	41	27	39	32	28	16	18																																												
社会経済活動の 状況に関する事象	⑧職場等での 欠勤者の増加	業務継続が困難になる事業者が多数発生するような状況には至っていない。 (企業等への聞き取りや県庁職員の自宅待機状況による)																																																							
感染状況に 関する事象	⑨感染者数の 増加	直近1週間(2/2～2/8)の新規陽性者数は4,216人で、前の週(1/26～2/1)の5,872人より1,656人、約28%減少している。【参考】宣言発出前(11/23～11/29)は23,568人																																																							

レベル判断に関する「指標」及び「事象」について

【参考】令和4年11月30日決定
(第48回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議)

▽ 国の例示に準拠し、下記のとおり設定する。

「新レベル分類」における レベル判断に関する「指標」及び「事象」		指標・事象の 把握方法	レベル判断の目安				
			レベル1 感染小康期	レベル2 感染拡大初期	レベル3 医療負荷拡大期	レベル4 医療機能不全期	
指標	①確保病床使用率	県発表資料	概ね0-30%	概ね30-50%	概ね50%超	概ね80%超	
	②重症病床用確保病床使用率	県発表資料	—	—	概ね50%超	概ね80%超	
事象	保健医療の負荷の 状況に関する事象 <ul style="list-style-type: none"> ①発熱外来患者の増加 ②救急外来患者の増加 ③入院医療の負荷が増大 ④重点医療機関における 医療従事者の欠勤者の増加 ⑤自宅や施設内療養中の 死亡者の発生 	医療機関等からの 聞き取り	外来医療・入院医療 ともに負荷は小さい	<ul style="list-style-type: none"> ・診療・検査医療機 関（発熱外来）の 患者数が急増し負 荷が高まり始める ・救急外来の受診 者数が増加する ・病床使用率、医療 従事者の欠勤者数 が上昇傾向となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来・救急外来 に多くの患者が殺到、 重症化リスクの高い者 がすぐに受診できない 状況が発生 ・救急搬送困難事案 が急増 ・入院患者が増加し、 医療従事者にも欠勤 者が多数発生し、入 院医療の負荷増大 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般外来にも患者が殺到 ・救急車を要請されても対応で きない状況が発生。外来医療 全体がひっ迫、機能不全 ・入院が必要な中等症・重症の 患者数の絶対数が著しく増加 ・多数の医療従事者の欠勤者 発生、入院医療がひっ迫する ・入院できずに自宅・施設内療 養中の死亡者が多数発生する ・通常診療を大きく制限せざるを 得ない状態 	
	社会経済活動の 状況に関する事象	⑧職場等での 欠勤者の増加	企業等からの 聞き取り 県・市町村職員 の欠勤状況	—	職場の欠勤者が増 加し、業務継続に支 障を生じる事業者が 出始める	職場で欠勤者が多数 発生し、業務継続が 困難になる事業者が 多数発生する	職場の欠勤者数が膨大になり 社会インフラの維持に支障が生 じる
	感染状況に 関する事象	⑨感染者数の 増加	県発表資料	感染者数は低位で推 移しているか、徐々に 増加している状態	感染者数が急速に 増え始める	医療の負荷を増大さ せるような数の感染者 が発生する	今冬の国の想定を 超える感染者が発生